

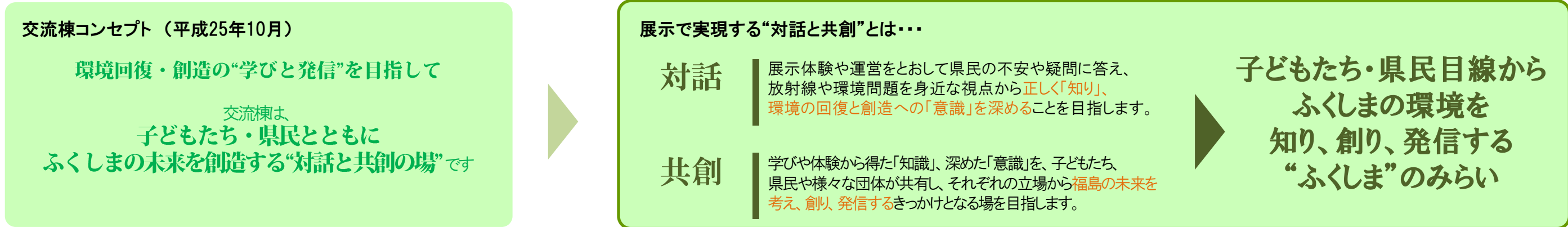
## 福島県環境創造センター 交流棟に係る展示の考え方(案)

—— ふくしまの子どもたちが安心して輝く未来を創造するために ——

2014年1月

福島県生活環境部  
環境創造センター整備推進室

■展示の整備方針

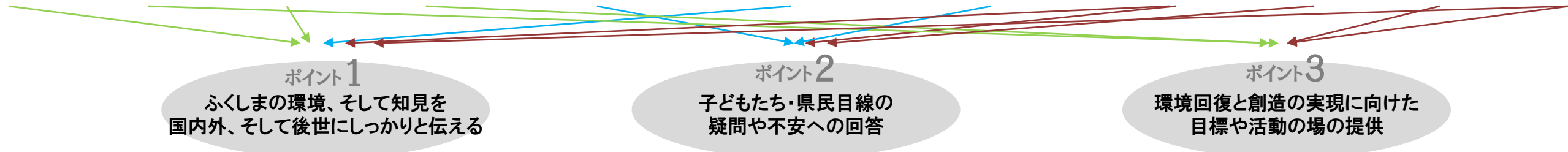
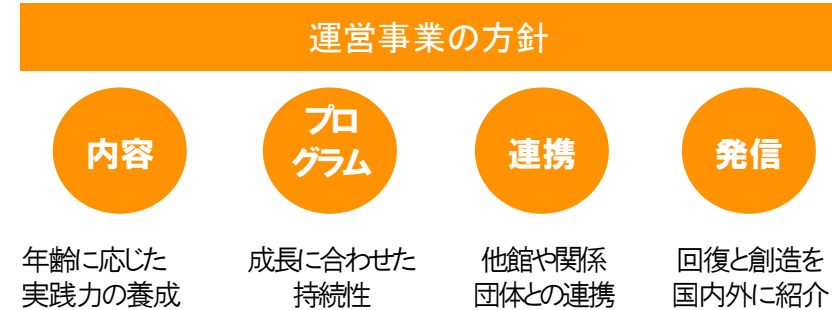
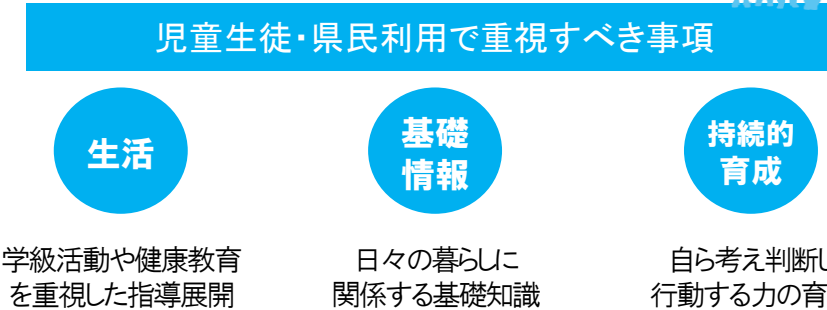
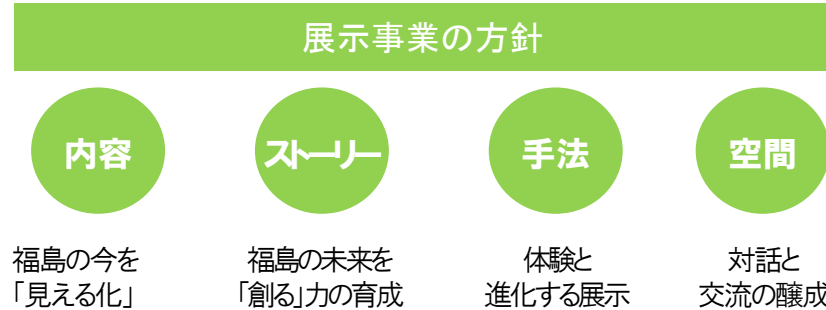


■事業方針など整理と重視するポイント

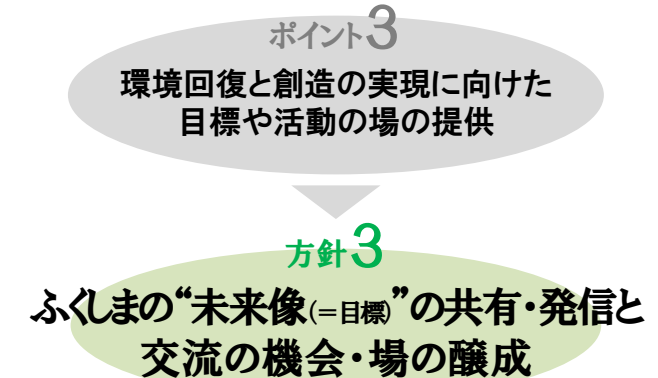
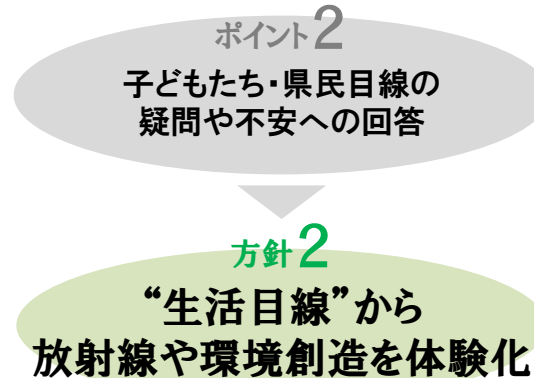
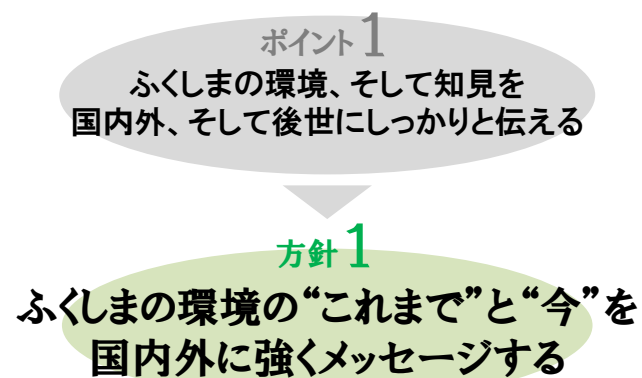
「交流棟に係る展示・運営事業の考え方」(平成25年10月)より

教育庁の考え方

「交流棟に係る展示・運営事業の考え方」(平成25年10月)より



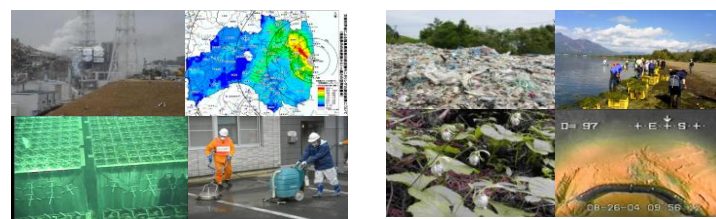
■展示整備の3つの方針



環境回復の最前線である福島県として  
3.11以降の環境に関する出来事とその経過を後世に伝え  
現在の環境を「見える化」し発信します

子どもたちとその保護者や県民など  
皆が疑問や不安を感じる内容を理科等だけではなく  
身近な目線から紹介、体験化します

体験をとおして得た知識・意識を実践することで  
実現可能となる未来像を県民が共有・発信するとともに、  
実現に向けて不可欠な交流の場を提供します



Action! & Communication!

■展示エリア

知る  
福島モニタリングスクエア

体験する  
放射線ラボ

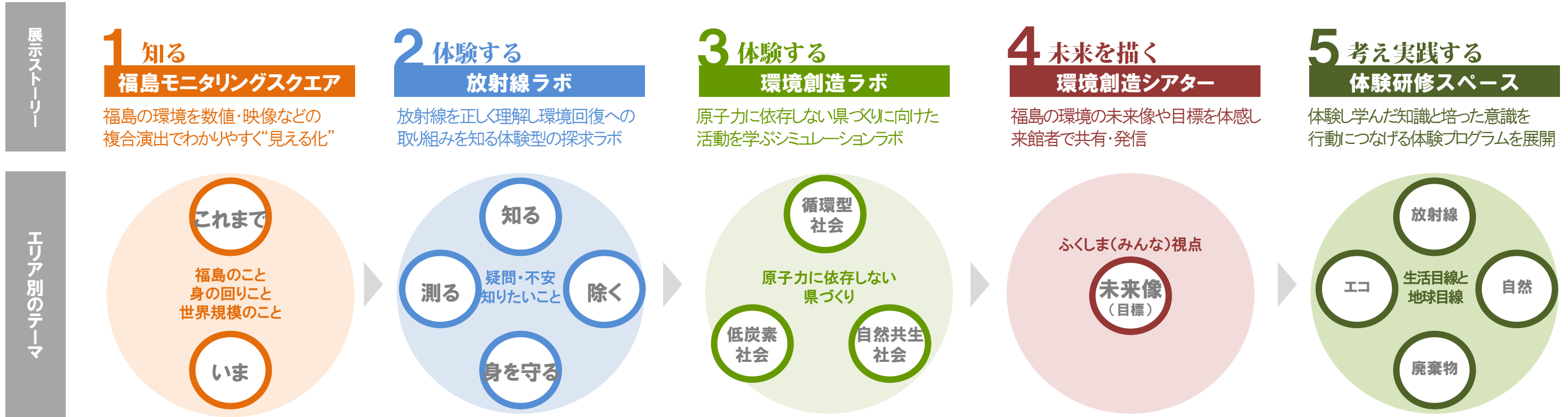
体験する  
環境創造ラボ

未来を描く  
環境創造シアター

考える・振り返る  
体験研修スペース

■展示ストーリーとエリア別のテーマ構成

放射線や環境への「知識」から「意識」を醸成し「実践」へとつなげる



訴求する視点・切り口  
誰にでも分かりやすく

“生活目線” から放射線と福島環境を体験

- 3.11から現在までの経過
- 福島県内の環境に関する今の数値
- 環境が自分たちと身近であり全てつながっていること

- 食べ物や水に関する内容
- 住環境や公園、山野などの身近な場所
- 日常生活の中で心がけること
- 身の回りに放射線があること
- 給食での取り組み
- 言葉や数値の意味

- 産業廃棄物と自分の出すごみ
- 生活の中で使う水やエネルギー
- 身の回りで再利用できるもの
- 身近な自然や動植物と外来種

- 実現したい福島環境の未来像
- 再生可能エネルギーが普及した原子力に依存しない未来
- 循環型・低炭素・自然共生の社会を実現した福島の生活
- 福島環境を創造するためにできることへの気づき

- 小中学生向けの体験講座
- 保護者や県民向け講習会
- 研究者や専門家によるワークショップ・講座等

詳しく伝えるための  
補足する内容

“広い視点” “より詳しい視点” などの目線から紹介

- 国境を超える環境問題
- 世界規模での気候変動

- 物理や化学などの理科に関する内容
- 放射線の歴史
- 現在身の回りで行われている取り組み
- 放射線に関する測定機器や除染の技術

- 産業廃棄物の発生原因
- 不法投棄
- 食物連鎖などの自然ネットワーク
- 環境創造のための最新技術や取り組み

- 放射線に関する基礎知識(体験の振り返り)
- 生活の中で心がけること
- 福島県内の文化や自然・名勝

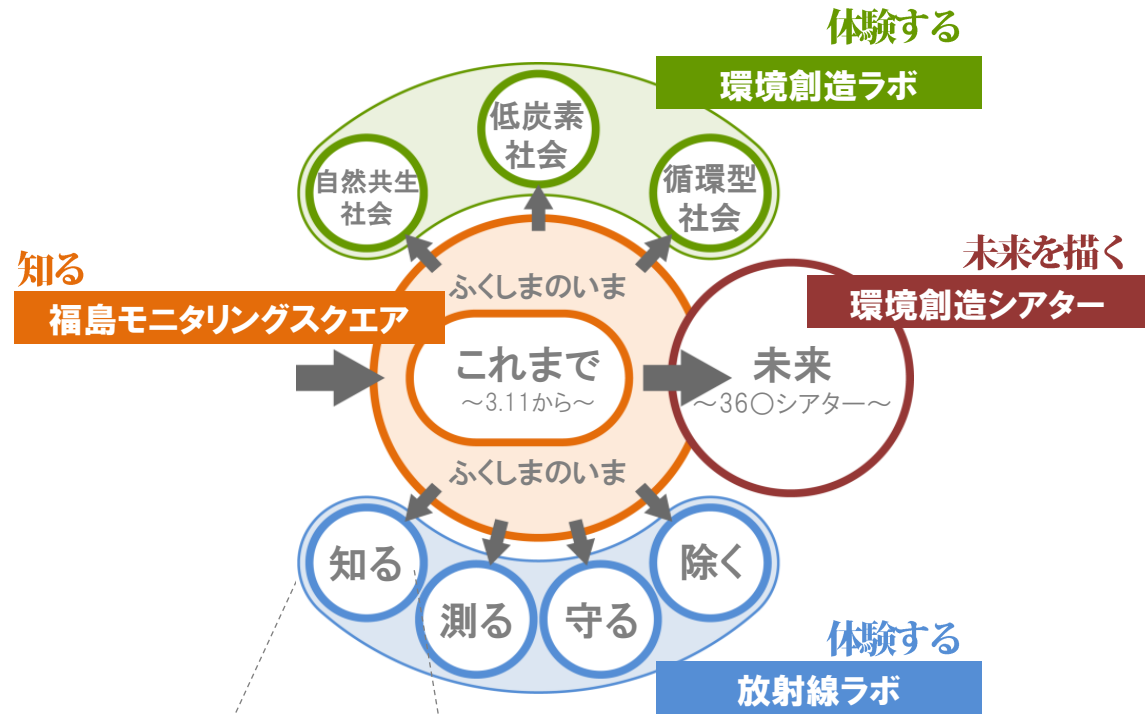
- 除染講習会
- 学会などの開催に合わせた専門的な講習・発表会

【国立科学博物館との連携】

- 国立科学博物館シアター360のコンテンツ上映

■展示構成概念図

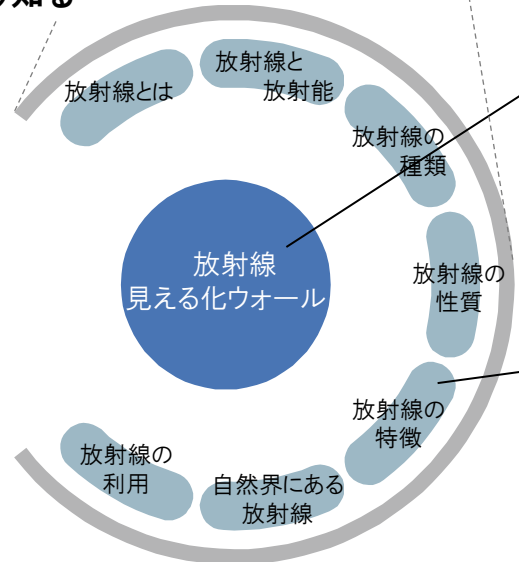
- ポイント 1 展示室エントランスから一直線に伸びる「ふくしまの3.11から」の視線の先に、ふくしまの未来を描く「環境創造シアター」を配置。
- ポイント 2 数値やビジュアルで示す「ふくしまのいま」を導入に「放射線ラボ」と「環境創造ラボ」の各テーマへと誘引する構成を採用し団体来場にも対応。



■各テーマの展示の構造

生活などの身近な目線から体験する「導入展示」と各テーマに関する情報を楽しく学ぶ「探求展示」で構成

例)知る



**導入展示**

- 各テーマごとに子どもたちや県民の関心が高い生活目線の体験展示。
- 各テーマのガイダンスとして機能し最も伝えたい内容を体験化。

**探求展示**

- 各テーマに関する正しい知識や生活に関する情報を映像やグラフィックなどで紹介

■展示ゾーニングイメージ



# ふくしまだからこそ伝えることができる「環境回復・環境創造」を県民とともに国内外に発信する展示を目指します

## 1 知る

### 福島モニタリングスクエア

福島にしか発信できない強い意志・決意の表明と  
事故から回復への歩みの記録を後世に伝えるとともに  
ふくしまの今を知ってもらう全体の導入展示エリア



例) ふくしまの3.11から 「ふくしま環境創造新聞」/「3.11クロック」

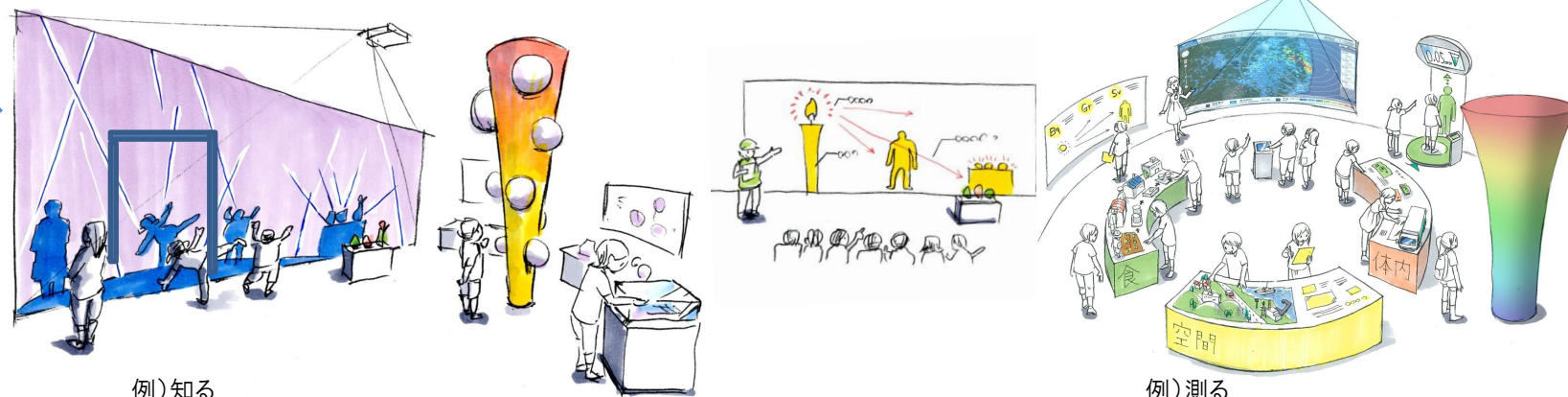


例)ふくしまの3.11から 「3.11からの歩み」

## 2 体験する

### 放射線ラボ

「知る」「測る」「身を守る」「除く」という4つの  
テーマで体験をとおして、  
放射線を正しく知って  
もらう展示エリア



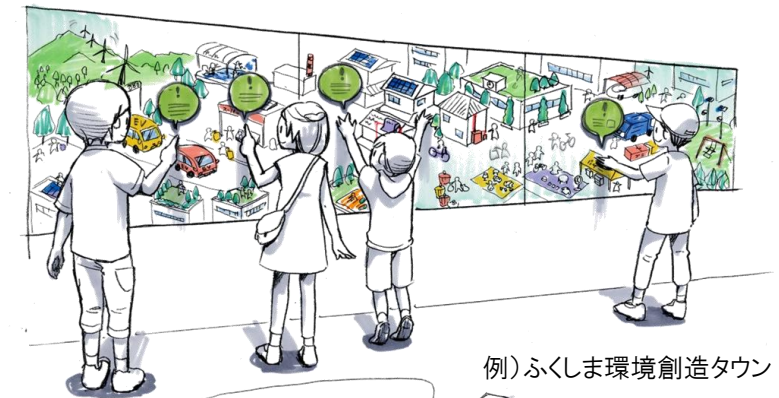
例)知る

例)測る

## 3 体験する

### 環境創造ラボ

原子力に依存しない県づくりへの取り組みはもう生活の中に  
ある(始まっている)ことを体験するシュミレーションラボ



例)ふくしま環境創造タウン



例)ふくしま環境計算機

## 4 未来を描く

### 環境創造シアター

福島の実環境の未来像や目標を体感し、来館者で共有・発信する  
ことで、「環境回復」「環境創造」への意識を醸成する展示エリア



国立科学博物館 THEATER 360 との連携も推進  
National Museum of Nature and Science

国立科学博物館のコンテンツ上映のほか、  
企画展示や展示エリアなど連携を進めます。